

自己免疫疾患におけるウイルス、真菌、細菌による感染症の特徴に関する検討に関する研究のお知らせ

帝京大学ちば総合医療センターでは以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2023年1月27日～2024年3月31日

〔研究課題〕

自己免疫疾患におけるウイルス、真菌、抗酸菌による感染症の特徴に関する検討

〔研究目的〕

関節リウマチを初めとする自己免疫疾患に対して、近年多くの免疫抑制薬が開発されています。一方で免疫抑制薬と関連した感染症発生の報告も増加しており、免疫抑制薬の種類ごとの検証はまだ十分に行われていません。本研究は自己免疫疾患における免疫抑制薬使用とウイルス、真菌、抗酸菌による感染症に関する記録を解析することで、その特徴を記載することが主な目的です。

〔研究意義〕

自己免疫疾患の治療に用いられる免疫抑制薬によって、罹患しやすくなる微生物の種類は通常よりも多岐に渡りますが、その診断はしばしば困難です。免疫抑制薬毎にどのような微生物に感染しやすくなるのかを把握することで感染症の診断を迅速に行うことに繋がり、最終的に治療予後を改善させることが目的となります。

〔対象・研究方法〕

2017年1月1日から2022年9月30日の間に帝京大学ちば総合医療センター内科(リウマチ科)を受診し、水痘帯状疱疹ウイルス、アスペルギルス、抗酸菌のいずれかの感染症に罹患した方が対象となります。

主に診療記録、検査記録(検体検査、細菌検査、レントゲン・CT等の画像検査)を用いて診断名、年齢、性別、身長、体重、既往歴、血液検査結果、画像検査結果、使用した免疫抑制薬、治療経過等の情報を使用いたします。

〔研究機関名〕

帝京大学ちば総合医療センター第三内科学講座

〔個人情報の取り扱い〕

この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものですので新規に検体試料の利用はありません。お名前、ご住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者:氏名 山室 亮介

職名 助手

研究分担者:氏名 萩野 昇

職名 講師

所属:帝京大学ちば総合医療センター第三内科学講座

住所:千葉県市原市姉崎 3426-3 TEL:0436-62-1211(代表) [内線 5410]